CIMチャンピオン養成講座のご案内
～CIM現場でのデータ活用とマネジメント～

熊本大学大学院先端科学研究部　特任教授
CIM研究会　会長
九州地方整備局　九州地方CIM導入検討会　委員長　小林一郎

国土交通省は、生産性向上を目標に、平成24年度にCIM（Construction Information Modeling/Management）、平成27年度からは、i-Constructionを提唱、この実現に向け、様々な基準を設け、現場での試行導入を進めています。

CIM研究会では、これに先立ち、平成26年度より、CIMの技術者の養成の取り組みを開始し、これまでに、91社180名のCIM技術者を養成してきました。本講座を継続的に実施してきたこともあり、本講座を受講、修了した技術者が実際の現場で活躍し、成果を上げているようです。

さらに昨年度からは、発注者側でもCIM演習を開始するなど、CIMを取り巻く環境は高度になりつつあります。

CIMチャンピオン養成講座では、このような背景を踏まえ、熊本と東京で講座を開催し、実現場においてCIMを実践できる技術者の育成に引き続き、取り組んでまいります。

CIMチャンピオン養成講座のメリット：

- **発注者の意図を先んじて理解し、ニーズに合ったデータを作成、提供する実践力の養成**
- **情報共有クラウドにより月1回の講座だけでなく、継続的なCIM養成を実現**
- **講座による最新動向の学習と実機による演習により、土木技術者として真に必要なCIM力を養成**

本講座は、1社2名での参加を推奨しています。会社内でCIMを推進、または発注者や協力企業と調整する技術者、そして実際にCIMのモデル空間を構築、運用する技術者です。そうすることで、企業内でのCIMを強力に推進し、かつ現場でのCIMの実運用が可能になると考えているからです。

さらに講座開始の5月から年度末までの期間、情報共有クラウド（KOLG：コルク）の利用により、参加者の方のCIMの活用を支援します。講座だけでは活用できないCIMの実践について継続的に支援いたします。

本講座の詳細（内容・日程）および参加募集要項等については、次ページ以降にて紹介いたします。皆様の参加をお待ちしております。

記

１．開催日程：

令和元（2019）年　5月　～　令和2（2020）年　3月（通年）
うち集合開催は8回（5月～12月）を予定しています。
詳細は別途プログラムを確認下さい。

２．主　催：CIM研究会

３．後　援：オートデスク株式会社

４．場　所：（東京会場）機械振興会館内会議室
http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html
（熊本会場）　熊本大学インキュベーションラボ　リエゾン会議室
http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjouhou/map_kurokami_2

５．対　象：発注者、施工者、建設コンサルタントのうちCIMに関する知識の向上とスキルアップを真剣に目指す方。

６．講座の目標と内容

CIMチャンピオン養成講座　土曜　13:00 – 17:00（講座と演習）

コース名	研　修　目　標	備　考
CIM講座	・CIMの概要を把握する ・CIMの最新情報を取得する ・現場の動向を理解する	
CIM演習	・CIM現場で必要なデータを理解する ・CIMを効果的に活用するためのモデルを把握する ・CIMを活用するためのツールの内容を理解する ・各ツールの基本機能を習得する ・CIM現場での課題解決のためのツールの機能を理解する	・パソコンによる演習（1台/社） ・「演習修了証」を発行 ・演習後の問い合わせは、情報共有クラウド（KOLG）で実施

７．注意事項

・ 受講資格は、特にありません。
・ 受講費用には、テキスト費用が含まれています。交通費、宿泊費、食事代は含みません。
・ 使用するパソコンとソフトウェアは、主催者が準備します。
・ 連絡や演習後の問い合わせは、情報共有クラウド（KOLG：コルク） (SNS)を使用しますので、インターネット環境が必要です。
・ 先着順で、東京会場20社、熊本会場20社を予定しています。申し込み多数の場合は、お断りする場合もありますので、予めご了承下さい。
・ 情報共有クラウド（KOLG：コルク）による掲示板での議論、ソフトウェアの操作方法やインストールに関するお悩み相談、CIMデータ作成に関するアドバイス等を行います。
・ ２名ペアでの参加をお願いします。費用は、2名ペアでの価格です。
・ 諸般の事情により内容を変更する場合があります。

８．CPD

本講座は、土木学会CPD認定プログラム（申請中）です。
（東京会場）認定プログラム 申請中（土木学会：28.0 単位）
（熊本会場）認定プログラム 申請中（土木学会：28.0単位）

９．費用

CIMチャンピオン養成講座　講座と演習　1社2名あたり　￥540,000円（税込）
（1社2名での登録をお願いします。）

１０．お問合せ先：CIM研究会

admin@cim-champion.com

熊本大学　モデル空間研究所
〒860-8555　熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
熊本大学　南キャンパス　インキュベーションラボラトリー2-2
担当：増田、中島
TEL　096-342-3598

１１．お申込み方法

下記ホームページの申込フォームよりお申し込みください。
締切は平成31（2019）年4月25日（木）です。
申込み受付後、確認メールを送信致します。

https://www.cim-champion.com/champion/2019-application/

１２．スケジュール（予定）

・CIMチャンピオン養成講座（東京会場）　各月の土曜日に1回　13:00 - 17:00

回	日時	講　　座 （13:00～14:00）	演　　習 （14:15～15:30 15:45～17:00）
1	2019年5月18日（土） 13:00～17:00	「全体ガイダンス・講座の意義」 小林　一郎　特任教授 （熊本大学）	InfraWorks　基礎
2	2019年6月15日（土） 13:00～17:00	「2019ソフトウェア・国内外動向」 福地　良彦　氏 （オートデスク（株））	InfraWorks　応用
3	2019年7月20日（土） 13:00～17:00	「施策の方向性」 二瓶　正康　氏 （国土交通省　総合政策局　公共事業企画調整課）	Civil 3D　基礎
4	2019年8月10日（土） 13:00～17:00	「ゼネコンのCIM・渋谷再開発プロジェクト・UiM（BIM+CIM）」 小島　文寛　氏 （東急建設）	Civil 3D　基礎
5	2019年9月21日（土） 13:00～17:00	「コンサルのCIM」 佐藤　隆洋　氏 （日本工営）	Revit　基礎
6	2019年10月19日（土） 13:00～17:00	「総合評価・CIMモデルをどう活用するか」 佐々木　実　氏 （クライス）	Civil 3D　応用
7	2019年11月16日（土） 13:00～17:00	「ゼネコンのCIM」 道端　健太氏 （（株）道端組）	InfraWorks Civil 3D Navisworks ※シナリオに沿った演習になります。
8	2019年12月21日（土） 13:00～17:00	「コンサルのCIM」 小林　優一　氏 （八千代エンジニヤリング（株））	

※講演タイトルは調整中です。

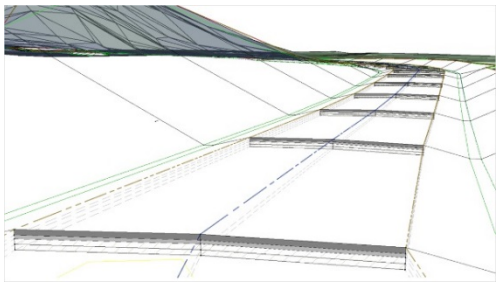
CIMチャンピオン養成講座（熊本会場）　各月の土曜日に1回　13:00 - 17:00

回	日時	講　　座 （13:00～14:00）	演　　習 （14:15～15:30 15:45～17:00）
1	2019年5月11日（土） 13:00～17:00	「全体ガイダンス・講座の意義」 小林　一郎　特任教授 （熊本大学）	InfraWorks　基礎
2	2019年6月8日（土） 13:00～17:00	「2019ソフトウエア・国内外動向」 福地　良彦　氏 （オートデスク（株））	InfraWorks　応用
3	2019年7月6日（土） 13:00～17:00	「施策の方向性」 二瓶　正康　氏 （国土交通省　総合政策局　公共事業企画調整課）	Civil 3D　基礎
4	2019年8月24日（土） 13:00～17:00	「ゼネコンのCIM・渋谷再開発プロジェクト・UiM（BIM+CIM）」 小島　文寛　氏 （東急建設）	Civil 3D　基礎
5	2019年9月14日（土） 13:00～17:00	「コンサルのCIM」 佐藤　隆洋　氏 （日本工営）	Revit　基礎
6	2019年10月26日（土） 13:00～17:00	「総合評価・CIMモデルをどう活用するか」 佐々木　実　氏 （クライス）	Civil 3D　応用
7	2019年11月9日（土） 13:00～17:00	「ゼネコンのCIM」 道端　健太氏 （（株）道端組）	InfraWorks Civil 3D Navisworks ※シナリオに沿った演習になります。
8	2019年12月14日（土） 13:00～17:00	「コンサルのCIM」 小林　優一　氏 （八千代エンジニヤリング（株））	

※講演タイトルは調整中です。

CIMチャンピオン養成講座　演習ソフト一覧

AutoCAD Civil3D



Civil 3Dは、CIMをサポートする特に土木事業に特化した3次元設計ソフトです。汎用のAutoCADでは困難な地形作成の機能を保持しています。

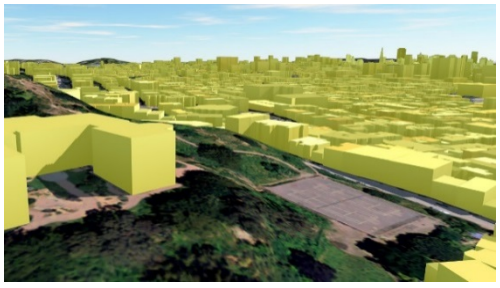
本講座では、Civil 3Dの基本的な機能を使用して、国土地理院の提供している数値地図や現地測量データ、レーザスキャナにより取得された点群データ等、3次元情報を活用し、現況地形データを作成し、土木現場でのベースとなるデータを作成します。

Autodesk InfraWorks

InfraWorksは、モデル空間に道路・鉄道・区画や構造物を配置して、視覚的にわかりやすい3次元のモデル空間を構築できます。また、様々な3次元ツールで作成したコンテンツを統合することが可能です。

本講座では、InfraWorksの基本的な機能を使用して、地形データの読み込みや道路・構造物の作成、および各種データ形式の読み込みを行い3次元のモデル空間を構築し、事業の見える化を実践します。

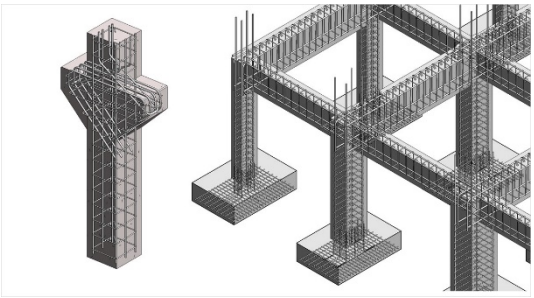
Autodesk Navisworks



Navisworksは地形、道路、構造物等のデータを1つのモデルの中に統合できるソフトで、干渉チェック、4D工程シミュレーション等が可能です。

本講座では、Navisworksの基本的な機能である干渉チェックや4D工程シミュレーション、アニメーションの作成を実践し、現場で懸念される重機の配置や作業手順の確認を行います。

Autodesk Revit



Revitは、「ファミリ」と呼ばれる建設部品を配置することで、複雑な構造物の形状や過密鉄筋の可視化、数量算出など、2次元では表現が難しいモデルを効率的に作成できる構造物の3Dモデリングに特化したソフトです。

本講座では、Revitの基本的な機能を使用して、特に構造物を対象としたモデルを作成します。